

総合計画体系	政策No.	4	政策名	心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成	施策主管課	教育委員会 生涯学習課
	施策No.	19	施策名	生涯学習の振興	施策主管課長名	名執 彰一
施策関連課名			市立図書館、市立美術館			

1 施策の目的と指標

<p>① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等</p> <p>市民 公民館、生涯学習センター、図書館、美術館</p>	➔	<p>③ 対象指標(対象の大きさを表す指標) * 数字は記入しない</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>A</td><td>市人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>B</td><td>生涯学習センター等の施設数</td><td>箇所</td></tr> <tr><td>C</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	A	市人口	人	B	生涯学習センター等の施設数	箇所	C								
名称		単位																		
A	市人口	人																		
B	生涯学習センター等の施設数	箇所																		
C																				
<p>② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)</p> <p>学習テーマを持ち、誰でも学べる。 学習の成果を活用することができる。 スポーツ・レクリエーション活動が習慣化され、健康増進に繋がる。 利用環境やサービスの充実により、学習やスポーツ施設の利用者が増加する。</p>	➔	<p>④ まちづくり指標(意図の達成度を表す指標) * 数字は記入しない</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>A</td><td>生涯学習を実践していると回答した市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>B</td><td>図書館レファレンスサービス(調査相談)件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>C</td><td>美術館ワークショップの参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>D</td><td>スポーツ・レクリエーション活動を習慣化していると回答した市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>E</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	A	生涯学習を実践していると回答した市民の割合	%	B	図書館レファレンスサービス(調査相談)件数	件	C	美術館ワークショップの参加者数	人	D	スポーツ・レクリエーション活動を習慣化していると回答した市民の割合	%	E		
名称		単位																		
A	生涯学習を実践していると回答した市民の割合	%																		
B	図書館レファレンスサービス(調査相談)件数	件																		
C	美術館ワークショップの参加者数	人																		
D	スポーツ・レクリエーション活動を習慣化していると回答した市民の割合	%																		
E																				
<p>・まちづくり指標設定の考え方(理由、数式も) ・まちづくり指標の測定規格(手段はアンケートか、統計か)</p> <p>A: 生涯学習活動の成果を示す。【市民アンケートの「趣味や娯楽なども含めて、生涯学習活動を行っていますか?」において、「行っている」「どちらかというで行っている」と回答した人の割合】 B: 図書館の利用促進活動の効果を示す。【レファレンスサービスの回答件数】 C: 美術館の利用促進活動の効果を示す。【美術館ワークショップの参加者数】 D: スポーツ普及活動の成果を示す。【市民アンケートの「習慣的にスポーツやレクリエーション活動を行っていますか?」において、「行っている」「どちらかというで行っている」と回答した人の割合】</p>																				

2 指標等の推移

指標名	単位	数値区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
対象指標	A 人	見込み値		72,644	72,322	72,001	71,680	71,359	71,038
		実績値	72,963	72,715	72,305				
	B 箇所	見込み値		3	3	3	3	3	3
		実績値	3	3	3				
	C	見込み値							
		実績値							
まちづくり指標	A %	目標値	45.0	50.0	29.0	31.0	33.0	35.0	37.0
		実績値	26.9	27.8	33.1	29.0			
	B 件	目標値	未設定	未設定	2,060	2,120	2,180	2,240	2,300
		実績値	1,961	3,939	5,488				
	C 人	目標値	未設定	未設定	1,300	1,325	1,350	1,375	1,400
		実績値	1,269	2,543	1,571				
	D %	目標値	35.9	37.2	37.0	39.0	41.0	43.0	45.0
		実績値	31.3	35.7	37.4	34.3			
	E	目標値							
		実績値							
関連事業本数			83	78	78	61			
関連事業予算額(単位:千円)			675,151	815,369	447,605	756,018	0	0	0
(予算額の内訳)	国庫支出金		0	83,300	0	0			
	県支出金		0	0	0	0			
	地方債		222,500	272,400	17,100	256,500			
	その他		53,230	16,210	29,514	29,839			
	一般財源		399,421	443,459	400,991	469,679			

目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)

A: 現行値から5年間で10%増加を目標に設定
B: 図書館利用やサービスの拡大を目指し、5年間で約400件(年間約3%)の増加を目標に設定
C: 5年間で約200人の増加を目指す
D: 現行値から5年間で約10%増加を目標とした数値を設定

3 評価結果

施策の有効性評価

① 目標達成度評価（目標値と実績値との比較）

- 目標値より高い実績値だった
- 目標値どおりの実績値だった
- 目標値より低い実績値だった

※左記の理由

指標Bの図書館レファレンスサービス件数、指標Cの美術館ワークショップ参加人数は目標値を大きく上回る数値であったが、指標Aの生涯学習を実践している市民の割合及び指標Dのスポーツレクリエーションを習慣化している市民の割合については、目標値をやや下回る数値であった。

② 時系列比較（過去5ヶ年の比較）

- 成果がかなり向上した
- 成果がどちらかと言えば向上した
- 成果はほとんど変わらない（横ばい状態）
- 成果がどちらかと言えば低下した
- 成果がかなり低下した

※左記の理由

指標Aの生涯学習を実践していると回答した市民の割合は、平成24年度に26.9%であったものが29.0%、指標Dのスポーツレクリエーションを習慣化していると回答した市民の割合は平成24年度の29%から34.3%となっている。いずれの項目も前年を下回ったものの、時系列比較では上昇傾向にある。指標Bの図書館レファレンスについては、平成24年度の実績が1,961件だったものが年々増加し、平成27年度の実績は5,488件となった。指標Cの美術館ワークショップ参加者数は平成26年度の実績が2,543人と高い実績であるが、夏祭りによるもので、平成25年度と比較すると増加している。

③ 他自治体との成果実績値の比較

- かなり高い成果水準である
- どちらかと言えば高い成果水準である
- ほぼ同水準である
- どちらかと言えば低い成果水準である
- かなり低い成果水準である

※左記の理由

指標Aについては、県内に同じアンケートはないが、山梨市での類似のアンケートでは「あなたはこの1年くらいに「生涯学習活動」をしたことがありますか？」という設問に対し、「したことがある」が44%であったのに対し、本市の「実践している」が29%と下回っている。指標Bについては、県内の市立図書館とレファレンス件数を比較すると、平成25年度については、県平均3,062件に対し本市では1,061件だったが、平成26年度は3,939件と増え、ほぼ同水準である。指標Cについては、県内の類似比較施設は無いが、近隣の施設では同水準である。指標Dは類似の市民アンケートを実施している甲府市と比較すると、甲府市40%に対し本市34.3%とどちらかと言えば低い成果水準である。

④ 住民の期待する成果水準との比較

- かなり高い成果水準である
- どちらかと言えば高い成果水準である
- ほぼ同水準である
- どちらかと言えば低い成果水準である
- かなり低い成果水準である

※左記の理由

「生涯学習の推進、文化・スポーツの振興」についての期待度は42.5%であるが、満足度は30.1%となっている。期待度に対し満足度はやや下回っているが、生涯学習講座、健康スポーツ教室、ファミリーバドミントン教室、スキー教室等の参加者に対するアンケートや市民の声を聞くと非常に満足度が高い。

4 まとめ

施策の課題抽出とその課題解決（成果向上）の方向性と具体的な取組内容

施策の課題抽出	課題解決の方向性	具体的な課題解決・改善内容
生涯学習を実践している市民の割合が少ない。	・子どもからお年寄りまで幅広い年齢層からの参加を得られるよう、多くの市民に魅力ある生涯学習講座を実施していく。	生涯学習講座参加者からのアンケートやインターネットからの情報収集などで市民に魅力ある講座を実施していくとともに、広報だけでなくホームページやチラシなど広く生涯学習講座や公民館活動の周知をしていく。
・図書館の閲覧コーナーが狭い。 ・市内全館が月曜休館となっている不便である。 ・図書館のサービスを良く知らずに利用していない市民がいる。	・市民が利用しやすい図書館環境の整備と、図書館サービスの充実を図る。また広報やホームページで広く市民に周知する。	・平成28年度に楡形図書館リニューアル工事及び甲西図書館改修工事を実施し、館内をリニューアルするとともに読書スペースを増やし、市民が利用しやすい環境を整える。 ・10月のリニューアルオープンにあわせて、楡形図書館を中央図書館として位置づけ、月曜開館を実施する。 ・10月より新サービスを開始するとともに、リニューアル記念事業として、さまざまな図書館事業を実施し、広く市民に周知しながら図書館の利用促進につなげていく。
・平成27年度末をもって白根桃源美術館が閉鎖され、ギャラリーとして活用できる場がなくなった。	・市民が自主的に活動でき、自主作品を展示発表できる環境を整備する。	・市立美術館を改修し、新たに市民が活動発表できる施設整備を環境を整える。
スポーツ・レクリエーション活動の習慣化している市民の割合が少ない。	スポーツやレクリエーション活動に興味があった者に一歩踏み出すきっかけ作りが出来るような場を提供する。	社会体育施設の指定管理者である体育協会、(株)フィットによる積極的な初心者スポーツ教室の開催。 スポーツ推進委員によるスポーツ健康教室、ファミリーバドミントン教室、スポーツラリー大会等への参加周知徹底をすることでスポーツやレクリエーション活動を習慣化するきっかけとなる場所へ参加者を増加させていく。